

藤島地区は敬老会を廃止

各町内会が補助金申請し独自に実施

東栄・八栄島・長沼・渡前は地区で実施

鶴岡市では平成28年度から32年度にかけて段階的に敬老会補助金を1100円に統一することから、大幅に減らされる藤島地域では各地区自治振興会で実施方法の見直しを検討されています。

藤島地区では18町内会にアンケート調査をおこない、地区全体で実施が5に対し、町内会独自の9で、敬老会は実施しない4だったことから、各町内会がそれぞれ補助金を申請し実施することとし、地区実施を取りやめることとなりました。

昭和も遠く⑤ 「門前払い」

中町 成澤功

阿部正雄の姉の末娘IKが或る文集に「叔父阿部正雄を思う」というエッセイを寄せている。

正雄が特高に逮捕された時、松嶺の実家も取り調べを受けている。役場の収入役だった阿部徳三郎（正雄の実兄）は責任を感じ辞職、のみならず陸軍志願兵となつた。南方戦線におもむく輸送船が敵機の攻撃により沈没、戦死してしまつた。悲

年度	H27(実績)	H28(案)	H29(案)	H30(案)	H31(案)	H32(案)
補助金単価(円)	2,400	2,200	2,000	1,700	1,400	1,100
藤島補助金	2,337,600	2,156,000	1,960,000	1,666,000	1,372,000	1,078,000
前年差額		-181,600	-196,000	-294,000	-294,000	-294,000
東栄補助金	1,008,000	924,000	840,000	714,000	588,000	462,000
前年差額		-84,000	-84,000	-126,000	-126,000	-126,000
八栄島補助金	496,800	462,000	420,000	357,000	294,000	231,000
前年差額		-34,800	-42,000	-63,000	-63,000	-63,000
長沼補助金	664,800	616,000	560,000	476,000	392,000	308,000
前年差額		-48,800	-56,000	-84,000	-84,000	-84,000
渡前補助金	830,400	770,000	700,000	595,000	490,000	385,000
前年差額		-60,400	-70,000	-105,000	-105,000	-105,000
計補助金	5,337,600	4,928,000	4,480,000	3,808,000	3,136,000	2,464,000
前年差額		-409,600	-448,000	-672,000	-672,000	-672,000

初女の人生の変転

旧姓成澤初女。大正の終わり阿部家当主松右衛門と結婚。男子2人をもうけたが昭和へ年号が変わって間もなく松右衛門が病死。阿部家を守るために弟の徳三郎と再婚（庄内の言葉で「なおる」）。昭和8年と11年に更に男子2人誕生。

ところが前述したように徳三郎が戦死。間もなく敗戦。初女は心

私の昭和

①9

鈴木重雄（88歳・八色木）

校歌作詞の上野元三郎先生と藤沢周平

藤沢周平さんが黄金小学校卒業である。「半生の記」にこんな一文があるので紹介したい。

「私は上野元三郎校長に放課後教室に残るように言われた。なんと校長が出てくるのか」といふと、担任である宮崎先生が、夏の終わりに軍に召集されたか満豪開拓団に行ったかで、突然学校を去り、その後上野校長が担任していたのである。――中略――今年の卒業式の時、郡賞はあなたもらうので、その心構えでいるように」と言つた。

上野校長は、目の前に座っている生徒が、のちに自分の後を追って師範学校に行き、そのうえ小説まで書くようになることは夢にも思わなかつた。

この頃、周平さんはひどいでもりと話すのが嫌いだつたので本を読むのが楽しみであつた。

両親はとても心配し、落胆したようだった。周平さんが原稿を書き級友に代読してもらつた。

周平さんが文学を志し小説を書くようになったのは、上野先生に魅かれたのだと言つて

乱れる日々の連続だったろう。

4人の子どもはいずれも未成年か学業半ば。戦後の生活の大きな混乱の中で初女の怒れる心が正雄への攻撃となつて現れたのではないか。

ここで余談だが、昭和40年代、荘内銀行のパーティに数回出席した経験がある私に、時の頭取金井勝介氏が会場で私を見ると、「初女ちゃん元気がや」などと声を掛けた。

藤島小を卒業して鶴岡高女に入学した初女は冬期間、クラス担任だった女教師金井先生の自宅に下宿していた。金井先生の実弟が勝介氏である。

大川渡の大地主、成澤甚左衛門の長女として生まれた初女は、下宿生活でも自宅で生活しているが如く振る舞つていたらしい。金井家の人々にいろんな意味でかなり強烈な印象を与えながら高女時代を過ごしたのではないか。

正雄はそんな兄嫁を親戚に迎えたのである。その後正雄は鶴岡旧市に自宅を建て、庄内の各地の中学校教師を歴任した。

初女は40歳にして一念発起。当時山形県内では珍しかった女性司法書士に合格し、4人の男子を育て上げた。治安維持法という最悪の国法がもたらした悲劇と、関係した人々のその後の人生です。

花と溪谷の道 伊那谷紀行(その1)

(新町 齋藤留治)



先日、伊豆半島の東南部にある東河津町の河津桜がもう咲いたと放映されていた。

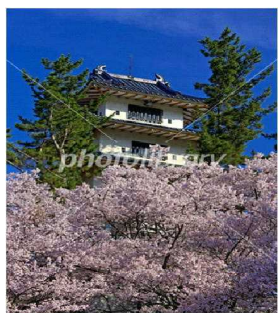
桜で記憶に残るのが信州諏訪湖から南に延びる伊那谷の風景、若い時、南アルプスの3千峰の頂から眺めた景色が目につかび、中仙道を歩く数年前に諏訪湖から飯田までの通称「伊那街道」歩きに挑戦した。

伊那街道(長野県塩尻市から南下して伊那谷に入り天竜川沿いの古道)は、戦国時代、甲斐の国主武田信玄が三河攻略に備えて軍用路として整備したと伝えられているが、今では地元の人達を除いて殆ど知られない街道ゆへか、中仙道のように宿場町の面影も無く、ただテクテク歩くだけの旅だった。
歩いたのが丁度桜や桃の花等が咲く時期だ

つたため、残雪に覆われた山々の溪谷景色はヨーロッパのチロル地方を連想させるようであった。

伊那谷に入っていく前の諏訪湖畔の桜並木も綺麗だったが、伊那谷で真つ先に挙げなければならぬのは「天下第一の桜」と詠われる高遠城址公園の桜であらう。

諏訪湖から3日位かけてテクテク歩いて着いた所が伊那市、天下第一の桜を見ないで後で「しまった」と後悔しても遅いと、朝早く起きて10km以上はあろうかと思われる道を高遠城址目指して歩いて行くと、遠くに南アルプスの残雪の山々に抱かれるように桜色に染まる一角が見えてきた。随分前に甲斐駒ヶ岳(標高2967m)か



高遠城

ら下山してきた時には何も知らないで、「こんな所に城がある」とバスから見たような記憶がよみがえってきた。歩いている時はまだ気が着かなかつたがその日は土曜日、公園近くになったら大名行列ならぬ車の大行列、大変な日に来てしまった事に気が付いた。(続く)

申請が2月1日から始まっている「福祉灯油」(1世帯5千円)。昨年は灯油助成券のため電気暖房では使えないこの声がありました。昨年3月議会で共産党市議団が取り上げ、今年度は対象世帯に現金支給となり、「オール電化でも支給されて良かった」と喜びの声が寄せられています。

「死の商人」を再び出すな

—しんぶん赤旗を読んで 青山崇

7日「武器輸出反対ネットワーク」(代表杉原浩司)が発足した。安倍政権は2014年4月、武器輸出を原則

「死の商人」育てるな

武器輸出反対の市民組織発足



しんぶん赤旗 2月8日付

禁じた「武器輸出三原則」を撤廃し「防衛装備移転三原則」に変え、オーストラリアとの潜水艦の共同開発はじめ官民一体で武器輸出を加速させ、紛争・戦争を商機とする「死の商人」復活と指摘するしんぶん赤旗2月8日付である。

『死の商人』は1962年岩波新書で出版、私たち青年の必読本で、今という流行語にもなっ

た。著者は明治の美術界の巨匠・岡倉天心の孫で国際政治家の岡倉古志郎である。1999年、新日本出版社『新日本新書』として再刊された。軍歌に「咲いた花なら／散るのは覚悟／見事散りましょ／国のため」と、日本男子は「国のために命をささげる」ことが奨励された時代。典型の「神風特攻隊」は若者の命を次々に奪った。この時代に大儲けしたのが「死の商人」。「ゼ



大臣の辞任

俺は元事務屋だったから、寄せられる支援カンパについては、額の多少にかかわらず領収書を出すことにしている。誰からの物か分からなくなることは勿論のこと、送らないでしまう危険性があるからだ。甘利氏は?

▲どうも領収書と言うものは無いようですね。あまりにもくれる所が多すぎて手が回らないのかも。それがまた、この事務所の慣例なのかも知れないが、

▲ここでおもしろい話があったじゃないですか。50万円はパーテータンにしてくれと大臣が言ったんだと。これだと名前を出す必要がないからだが、「これは個人への金だから」とそのまま納めてもらったというのだ。だから、国会でそんなことするはずがないと否定して

口戦」の中島飛行機(県内にも疎開工場・私の小学校体育館も工場)は、三菱重工を追いこして航空機業界の王者になった。敗戦で軍需工場が国有化されると、やりたい放題。未納品で生産もされない幽霊製品に代価を支払わせ、『軍需補償』つまり戦争被害の損失補償は当時で総額500億円、内200億円は敗戦のドサクサに支払われた。まさに「死の商人」である。

いるが、案外個人への御礼と言われてそのままポケットに入れたというのが本当のように思えるんですがネー。▲それにしても、毎日のように呼んだり呼ばれたりとお話していたんですネー。そして事務所の顔を立たせてくれと言ったとか。ヤクザなやりとりもあったんだ。それでいて圧力は掛けないし、圧力は感じなかったと言う。方や大臣側なんだよ。

▲1200万円の謝礼の件があるから生き延びられないと大臣を辞めたんだらうが、首相の任命責任は自分にある、と言いながらどんな責任を執ったのさ。恥ずかしいヤツを国の代表として交渉へ出したんだぞ。こっちの責任はどうするのさ。

▲高村副総裁の「はめられた」発言は問題にならないんですか。これが金にまみれた自民党の姿の現れだがサ。

(石川)